

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 4 年 5 月 31 日現在

機関番号：32614

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2017～2020

課題番号：17H02481

研究課題名(和文) アジア太平洋地域における比較政党政治のための基礎的研究

研究課題名(英文) Basic research for comparative party politics in Asia and the Pacific

研究代表者

上神 貴佳 (Uekami, Takayoshi)

國學院大學・法学部・教授

研究者番号：30376628

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,400,000円

研究成果の概要(和文)：北東アジア(日本・韓国・台湾)と、東南アジア(インドネシア)における主要な政党の組織について、1990年代以降を対象とする、網羅的なデータの収集を実施した。量的な情報のみならず、質的な情報に関しても、コードブックを作成して分類を行った。機械可読形式で記録することにより、コンピュータを用いた計量的な分析にも耐えるようにした。今後の課題は、本データの活用促進と、対象国・政党のカバレッジ拡大である。とりわけ、各国政党組織の比較検討は重要な課題となる。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の意義は、アジア太平洋地域における政党の組織に関するデータベースを構築し、研究のインフラを整備することによって、政党研究の水準向上に資することにある。政党は有権者と政府の紐帯であり、代議制民主主義の要といえる。したがって、政党がどのように組織されているか、時系列的な変化を検証し、相互の比較を可能として、その特徴を明らかにすることは、民主主義を評価する上で重要な作業となる。しかし、従来の政党研究はヨーロッパ中心であり、アジアの政党については必ずしも当てはまらないことがあった。本研究はこうした課題に応えるものである。

研究成果の概要(英文)：In this study, we conducted a comprehensive data collection on the organizations of political parties in Northeast and Southeast Asia from the 1990s onward. We selected Japan, South Korea, and Taiwan to represent Northeast Asia, and Indonesia was included as a representative of Southeast Asia. By applying the scheme for data classification developed in our codebook, we gathered both qualitative and quantitative information on party organizations. Since the data was recorded in a machine-readable fashion, we were able to use a computer to conduct a quantitative analysis. What remains to be done is to promote a wider use of this dataset and to extend the coverage to other countries and political parties in these regions with particular emphasis on the comparative study of party organizations from different countries.

研究分野：現代日本政治 比較政党政治

キーワード：比較政治 アジア 政党 政治学

## 1. 研究開始当初の背景

ヨーロッパにおける政党研究は、グローバルな政党研究の発展に大きな貢献をしてきた。とりわけ、政党制を支える社会的亀裂・凍結仮説が有名であり、また、政党組織のモデルに関しても、大衆政党、包括政党、選挙プロフェッショナル政党、カルテル政党、最近では Multi-speed 政党などが提示されてきた。これらは、社会や経済、技術の変化と政党政治の関係を説明するマクロ・歴史的なモデルとして、比較政治学においても重要な位置を占め続けている (Krouwel 2006; Scarrow 2015)。これらは代議制民主主義そのものの評価にも直結する論点を提起するものであり、熟議理論など政治理論の動向とも関係する。

こうした理論的な発展を裏付ける方法論上の革新としては、各国横断的に政党の組織や政策の比較を可能にするべく、大規模かつ体系的に機械可読形式でデータベースの構築が試みられてきたことが挙げられる。政策については、Manifesto Project Database が有名である。ヨーロッパの学界を基盤として発展してきた研究プロジェクトであるが、今日では、そのカバレッジをグローバルに広げている。また、政党組織のデータベースについては、R.S. Katz と P. Mair によるものが有名である (Katz and Mair eds. 1992)。現在、この後継として、T. Poguntke、P. Webb、S. Scarrow が主導する国際共同研究である、Political Party Database Project, PPDB が進められている。PPDB はヨーロッパを中心とする政党組織のデータベースとして発足したが (Round1a)、現在ではそのカバレッジをアジア、南北アメリカ、アフリカにまで拡大している (Round2)。なお、この PPDB において、本報告の執筆者は日本の政党を担当している (Round1b 以降)。

一方、アジア太平洋地域を対象とする比較政党研究は活発とは言い難く、欧米を中心に発展してきた理論的な枠組みを個別の国や地域、政党に適用するにとどまる場合も少なくない。日本の政党政治についても、かつては自民党の包括政党化、近年では選挙プロフェッショナル化、カルテル政党化を指摘する研究もある。しかし、欧米発のモデルを日本やアジアの事例に当てはめて理解することは、社会経済的背景や歴史的経緯の違いを過小評価することにもなる。本研究を開始する以前においても、アジア太平洋地域の政党に関するデータの収集が試みられてきたが、その多くは 20 年～30 年ほど前に刊行されたものである (Fukui ed. 1985; Delury ed. 1987; Lewis and Sagar eds. 1992 など)。内容の更新が必要であり、また、記述的な手法によって政党の特徴が説明されているため、事例間の比較が容易ではないという難点があった。

Delury, George E. ed. 1987. *World Encyclopedia of Political Systems & Parties. Facts on File.*

Fukui, Haruhiro ed. 1985. *Political Parties of Asia and the Pacific.* Greenwood Press.

Katz, Richard S., and Peter Mair eds. 1992. *Party Organizations: A Data Handbook on Party Organizations in Western Democracies, 1960-90.* Sage.

Krouwel, André. 2006. "Party Models." In Richard S. Katz and William Crotty eds. *Handbook of Party Politics.* Sage, pp. 249-269.

Lewis, D.S., and D.J. Sagar eds. 1992. *Political Parties of Asia and the Pacific: A Reference Guide.* Longman.

Scarrow, Susan. 2015. *Beyond Party Members: Changing Approaches to Partisan Mobilization.* Oxford University Press.

## 2. 研究の目的

本研究の目的は、アジア太平洋地域における政党の組織に関するデータベースを作成することにより、ヨーロッパを中心とする政党研究と同等水準の研究インフラを整備することにある。したがって、ヨーロッパの政党データベースに関連する研究の現状を調査しながら、アジア太平洋地域の政党に関する先行研究の空隙を埋めることが必要となる。これらを達成するため、下記のように大まかな目標を設定した。

- ・ アジア太平洋地域における政党の組織に関するデータを収集する。
- ・ Katz and Mair eds. 1992 や PPDB を参照し、本研究におけるデータの収集方法を策定する。
- ・ 機械可読形式でデータを収集する。
  - 量的な情報を収集する。
  - 質的な違いについては、コード化して記録する。
  - コード化しきれない質的な情報も可能な限り収録する。
- ・ 背景情報については、公式制度に関するものを収集する。

本研究における主たる対象は政党組織であるが、関連する背景情報として、公式制度についても収集することにした。具体的には、政党政治に及ぼす影響が大きいと考えられる、執政制度、

選挙制度、政党法等が対象となる。

### 3. 研究の方法

上記の目標を達成するため、本研究が採用した、データ収集の範囲、方針、手続きについて述べる。まず、本研究に参画する共同研究者との話し合いにより、データ収集の対象となる地域・国を以下のように設定した（ただし、今後における段階的な拡大の可能性を排除しない）。

- ・ 北東アジア：日本、韓国、台湾。
- ・ 東南アジア：インドネシア。

また、データ収集の期間は、1990年代以降を中心とすることで合意した。その根拠は、（日本を除く）アジアにおける競争的な政党制の成立、すなわち民主化を起点とすることが合理的と考えられるからである。

データの収集方法については、PPDB等とはやや異なる。収集されたデータの根拠として、1. 「党文書」を第一とする点では変わらないが、本研究の対象であるアジアの政党については、これらが入手可能とは限らない。そこで、2. 「党文書以外の根拠資料（新聞記事など）」も認めることにした。3. 「専門家による判断」は、前記1、2ではデータを集められず、かつ専門的な見地からも適切と考えられる場合に限定した。

上記の方針に基づくことを確認し、さらに収集項目をコードブックにまとめて共有し、体系的にデータを収集することに努めた。

本研究におけるデータ収集に用いたコードブックの主な項目

A データ・ポイント	国政選挙・党首選出
B 政党の法的位置づけ	政党法・政党助成制度
C 党首	党首名・議員団長名
D 議会における議席数・議席率	議席数・得票率
E イデオロギー	全般・経済・社会・その他
F 主要な支持団体・支持者集団	各種社会集団
G 執政・議会における地位	政権への参画・閣僚数
H 地方政府・地方議会における地位	長官数・議員数
I 党員数	党員数・準党員数
J 党財政	収入・支出
K 党首	任期・権限
L 党員	資格・手続き・党費・権利
M 議決機関	名称・開催頻度・構成員・権限
N 執行機関	構成員・権限
O 党内グループ	派閥数・対立軸
P 支部	地域・属性
Q 党首選出	候補者資格・有権者・決定方法
R 候補者選定	候補者資格・有権者・決定方法
S 政策決定	マニフェスト決定過程
T 政党のウェブサイトのコンテンツ	提供機能
U オンラインでの有権者主導の活動	提供機能
V SNSの利用	連携機能
W メインサイトへの訪問者	延べ数

大衆政党モデルのルーツである西欧の政党研究から出発したPPDB等とは異なり、本研究では、比較的に新しい政党組織の特徴を捉えるため、サイバー空間における政党の組織化にも対応の比重を割いた（項目T~W）。また、PPDBが2010年代における計2回のデータ収集であるのに対して、本研究のデータベースは、1990年代以降の変化を捉えることを可能にしたのも特徴といえる。

### 4. 研究成果

まず、データベースの構築については、コードブックの各項目について、下記の政党に関する情報を収集した。データの収録期間は1990年代以降である。

- ・ 日本：自由民主党、民主党（後継政党含む）、公明党、日本共産党、日本維新の会。
- ・ 韓国：権威主義体制期の与党であった保守系政党と、野党であった革新系政党に大別する。保守系政党 = 未来統合党、正しい未来党、正しい政党、自由韓国党、セヌリ党、ハンナラ党、

自由民主連合、新韓国党、統一国民党、民主自由党、民主正義党、新民主共和党。  
革新系政党 = 共に民主党、新政治民主連合、民主統合党、統合民主党、大統合民主新党、  
開かれたウリ党、新千年民主党、新政治国民会議、民主党、新民主連合党、平和民主党。

- ・ 台湾：国民党、民進党、新党（NP）、台湾團結連盟（TSU）、親民党、時代の力。
- ・ インドネシア：民主党（Demokrat）、ゴルカル党（Golkar）、グリンドラ党（Gerindra）、国民民主党（Nasdem）、国民信託党（PAN）、闘争民主党（PDIP）、民族覚醒党（PKB）、福祉正義党（PKS）、開発統一党（PPP）。

本研究の参加者が成果を刊行した後に、データベースの一般公開を予定している。機械可読ファイル形式のデータ本体とコードブック、各国政党のサマリーから構成される。データベースの寄託先を含む公開方法の詳細については、今後の検討課題である。

また、本研究を実施する過程において、コードブックの有効性、データの収集可能性を検証するために、予備的にデータの検討を行った。その結果、各国政党組織の特徴を明らかにする上で、以下のような研究課題が有望であることが分かった。

- ・ 「公的制度」（執政制度、選挙制度、政党法等）の政党組織に対する影響の解明。
- ・ 「党首権限」（人事・政策決定）の政党間比較と相違をもたらす要因の解明。
- ・ 「党首選出過程」の政党間比較と相違をもたらす要因の解明。
- ・ 「候補者選出過程」の政党間比較と相違をもたらす要因の解明。

上記のトピックについては、本研究のデータベースに収録された政党間の相違や時系列的な変化が見られるだけでなく、主としてヨーロッパを対象としてきた既存研究に依拠する、標準的な理論の妥当性を検証する上でも重要な事例が含まれることが分かった。本データベースを有効に活用したい。

以上

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計17件（うち査読付論文 3件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 Narihiro, Takashi	4. 巻 71
2. 論文標題 The Electoral Alliances and Their Effects in 2019 British General Election	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 岡山大学法学会雑誌	6. 最初と最後の頁 535-548
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 上神貴佳	4. 巻 52
2. 論文標題 地方議会と有権者を隔てる情報の壁 統一地方選挙有権者調査の分析	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 地方議会人	6. 最初と最後の頁 16-19
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 上神貴佳	4. 巻 755
2. 論文標題 参議院（比例代表選出）議員の選挙について、いわゆる特定枠制度を定める公職選挙法の規定の合憲性	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 判例評論	6. 最初と最後の頁 20-24
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Chen, Boyu, and Chen Ching-Chang	4. 巻 -
2. 論文標題 Rethinking China? Taiwan Relations as a Yin-Yang Imbalance	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Third World Quarterly	6. 最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1080/01436597.2021.1960158	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Park, Jisun	4. 巻 25
2. 論文標題 Centralization under the Abe Administration: Analysis of the Activities of the LDP's Presidential Policymaking Organs	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Korean Journal of Japanese Studies	6. 最初と最後の頁 42-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.29154/ilbi.2021.25.42	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takenaka, Harukata	4. 巻 22
2. 論文標題 Evolution of Japanese Security Policy and the House of Councilors	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Political Science	6. 最初と最後の頁 96-115
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1468109921000086	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹中治堅	4. 巻 527
2. 論文標題 民主政治が要請する、政府の権限強化	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Voice	6. 最初と最後の頁 60-67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹中治堅	4. 巻 135(12)
2. 論文標題 『新しい資本主義』の鍵はデジタル化、シェアリング化だ：衆院選直後から始まる岸田政権の正念場	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 中央公論	6. 最初と最後の頁 134-141
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹中治堅	4. 巻 135(3)
2. 論文標題 官政権、混乱の対応を読み解く	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 中央公論	6. 最初と最後の頁 96-103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹中治堅	4. 巻 該当なし
2. 論文標題 首相の指導力が制約された新型コロナウイルス感染症対応：「危機の1年」を振り返る	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nippon.com	6. 最初と最後の頁 該当なし
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chen, Boyu	4. 巻 September Issue
2. 論文標題 The Geopolitical Chessboard of the Second Tsai Administration	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Pubic Jurist	6. 最初と最後の頁 41-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上神貴佳	4. 巻 33
2. 論文標題 選挙制度は今のままでよいか 「総体としての制度改革」の構想	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 論究ジュリスト	6. 最初と最後の頁 39-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 堤英敬	4. 巻 35(1)
2. 論文標題 自民党における候補者公募制度の採用と政党地方組織	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 選挙研究	6. 最初と最後の頁 76-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上神貴佳	4. 巻 5
2. 論文標題 国と地方の選挙制度 選挙制度不均一を中心に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 憲法研究	6. 最初と最後の頁 97-110
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 浅羽祐樹	4. 巻 2018(1)
2. 論文標題 韓国憲法裁判所における大統領弾劾審判の比較研究：盧武鉉と朴槿恵	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 年報政治学	6. 最初と最後の頁 96-122
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Liao, Da-chi, Frank C.S. Liu, and Boyu Chen	4. 巻 12(1)
2. 論文標題 Taiwanese Nationalism in the Age of Cross-Strait Integration: Predominance and Pragmatism	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Review of Social Science	6. 最初と最後の頁 64-107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 竹中治堅	4. 巻 132(6)
2. 論文標題 議院内閣制の変容と「忖度」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 中央公論	6. 最初と最後の頁 40-49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計19件 (うち招待講演 10件 / うち国際学会 13件)

1. 発表者名 Park, Jisun
2. 発表標題 Dynamics of the Pre-Legislative Deliberation in Japan: Focusing on Policy Organs of the Liberal Democratic Party under the Abe Administration
3. 学会等名 International Political Science Association World Congress (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 朴志善・具裕珍
2. 発表標題 日本政治の右傾化論に関する考察－自民党と日本会議の活動方針の分析
3. 学会等名 日本政治学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Uekami, Takayoshi, and Jyunpei Yamaguchi
2. 発表標題 Japan: Struggle for Party System Change
3. 学会等名 The International Conference on Political Parties and the Crisis of Democracy (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 朴志善
2. 発表標題 韓国政府のCOVID19対策 日韓比較の観点から
3. 学会等名 E A A(東アジア藝文書院)ウェビナー「コロナ危機と医療・介護政策過程」(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 朴志善
2. 発表標題 日本の政府与党関係：与党事前審査制度の発展を中心に
3. 学会等名 韓国ソウル大学日本研究所・日本専門家招請セミナー(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 朴志善
2. 発表標題 立法前協議の比較政治 「与党内不一致」と日韓制度
3. 学会等名 議会制度比較研究会(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Uekami, Takayoshi, Takeshi Ito, Ryo Fujishima, Yuusuke Miyachi, and Jyunpei Yamaguchi
2. 発表標題 Decomposing and Examining the Multiple Aspects of Party Institutionalization: Internal Party Organization and External Electoral Volatility
3. 学会等名 The PPDB Virtual Meeting(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Uekami, Takayoshi, Takeshi Ito, Ryo Fujishima, Yuusuke Miyachi, and Jyunpei Yamaguchi
2. 発表標題 Decomposing and Examining the Multiple Aspects of Party Institutionalization: Internal Party Organization and External Electoral Volatility
3. 学会等名 日本政治学会研究大会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Ogawa, Hiroki, Masako Tanaka, Asako Takashima, Yu Ajishi, and Takayoshi Uekami
2. 発表標題 Explaining How Parties Respond to the Multi-Level Governance in Europe: A Comparative Study of Party Manifestos and Organizations
3. 学会等名 The ECPR General Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ogawa, Hiroki, Masako Tanaka, Asako Takashima, Yu Ajishi, and Takayoshi Uekami
2. 発表標題 Explaining How Political Party Supports Supra-Nationalism and Regionalism: A Comparative Study of Party Manifestos
3. 学会等名 The Conference "Values in European and Japanese Politics" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Uekami, Takayoshi, and Daisuke Shimizu
2. 発表標題 The Spatial Competition Model under Multi-Level Inconsistent Electoral Systems: Explaining Intraparty Policy Variance in Japan
3. 学会等名 The Conference "Values in European and Japanese Politics" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 陳柏宇
2. 発表標題 仏教による紛争解決可能なのか「中台関係の事例をもとに」
3. 学会等名 上廣倫理財団助成研究発表会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 堤英敬
2. 発表標題 候補者選定方法と政党組織：地方組織主導の候補者選定過程の開放と自民党
3. 学会等名 日本政治学会研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tsutsumi, Hidenori, and Boyu Chen
2. 発表標題 Democratic Innovations or Utopian Ideas? The Cases of Cyber Parties in Japan
3. 学会等名 Workshop on “Cyber Parties: New Parties, ICTs and Organization in the Digital Age” (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Uekami, Takayoshi, Asako Takashima, Hiroki Ogawa, Masako Tanaka, and Yu Ajishi
2. 発表標題 Explaining Issue Salience of Party Manifestos in Multi-Level Settings: A Cross-national Study
3. 学会等名 World Congress of the International Political Science Association (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Maeshima, Kazuhiro, Diana Owen, Shoko Kiyohara, Hongchun Lee, Tetsuro Kobayashi, Morihiro Ogasahara, and Boyu Chen
2. 発表標題 Internet Election Campaigns in the United States, Japan, Korea, and Taiwan
3. 学会等名 Annual Meeting of American Political Science Association (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Uekami, Takayoshi
2. 発表標題 How to Measure Party Institutionalization: Expanding the PPDB to Asia
3. 学会等名 Annual Meeting of American Political Science Association (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Uekami, Takayoshi
2. 発表標題 Japanese Parties from the Comparative Perspective of the Political Party Database (PPDB) Project
3. 学会等名 Conference on “Parties in a Globalised World: Challenges and Responses in the Internet Era” (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Uekami, Takayoshi
2. 発表標題 Party Organizations in Japan: Does the PPDB Coding Scheme Work Well?
3. 学会等名 Dusseldorf Launch Conference of the Political Party Database Project (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計15件

1. 著者名 竹中治堅	4. 発行年 2022年
2. 出版社 文春新書	5. 総ページ数 388
3. 書名 「与党統制『首相支配』の浸透」アジア・パシフィックイニシアティブ編『検証安倍政権 保守とリアリズムの政治』265-306	

1. 著者名 陳柏宇	4. 発行年 2021年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 376
3. 書名 「東アジアにおける『帝国』の構造とサバルタン・ステイト 韓国と台湾を中心に」荒木和華子・福本圭介編『帝国のヴェール：人種・ジェンダー・ポストコロナリズムから解く世界』234-252	

1. 著者名 Hartleb, Florian, Hidenori Tsutsumi, and Boyu Chen	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 314
3. 書名 "Digital Parties as Personalistic-Authoritarian Business Firm Models. Is Japan Following European Trends?" In O. Barbera, G. Sandri, P. Correa, and J. Rodriguez-Teruel eds., Digital Parties: The Challenges of Online Organisation and Participation, 269-286	

1. 著者名 成廣孝	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ナカニシヤ出版	5. 総ページ数 282
3. 書名 「ポスト・グローバリゼーションと欧州統合、ブレグジット：イギリス政党政治を中心に」岩崎正洋編『ポスト・グローバル化と国家の変容』111-146	

1. 著者名 成廣孝	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ナカニシヤ出版	5. 総ページ数 276
3. 書名 「ヨーロッパ政治研究における『クリーヴィジ』」伊藤武・網谷龍介編『ヨーロッパ・デモクラシーの論点』91-110	

1. 著者名 朴志善	4. 発行年 2021年
2. 出版社 木鐸社	5. 総ページ数 262
3. 書名 『立法前協議の比較政治：与党内不一致と日韓の制度』	

1. 著者名 朴志善	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京大学東アジア藝文書院	5. 総ページ数 89
3. 書名 「韓国政府の COVID-19 初期対策 疫病管理本部主導の政策決定とその背景」具裕珍編『コロナ危機と未来社会』17-29	

1. 著者名 Takenaka, Harukata	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Cambridge University Press	5. 総ページ数 542
3. 書名 "Expansion of the Japanese Prime Minister 's Power and Transformation of Japanese Politics." In Takeo Hoshi and Phillip Y. Lipsy eds. Political Economy of the Abe Government and Abenomics Reforms, 43-67	

1. 著者名 竹中治堅	4. 発行年 2020年
2. 出版社 中公新書	5. 総ページ数 356
3. 書名 コロナ危機の政治	

1. 著者名 Uekami, Takayoshi, Jisun Park, and Boyu Chen	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 260
3. 書名 "External Voting without Political Parties Abroad? Comparing Japan, South Korea and Taiwan." In Tudi Kernalegenn and Emilie van Haute eds. Political Parties Abroad: A New Arena for Party Politics, 135-153	

1. 著者名 新城道彦・浅羽祐樹・金香男・春木育美	4. 発行年 2019年
2. 出版社 有斐閣	5. 総ページ数 308
3. 書名 知りたくなる韓国	

1. 著者名 竹中治堅	4. 発行年 2019年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 318
3. 書名 「民主党『保守派』の形成」御厨貴編『オーラルヒストリーに何ができるか』155-171	



1. 著者名 堤英敬	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 384
3. 書名 「政治家の生活を覗いてみよう：政治家と有権者、政治家と政党」永井史男・水島治郎・品田裕編『政治学入門』62-88	

1. 著者名 Uekami, Takayoshi, and Hidenori Tsutsumi	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Rowman & Littlefield International, in partnership with ECPR Press	5. 総ページ数 318
3. 書名 “Inverse Relationship between Party Institutionalisation and Party System Competitiveness: The Transformation of Postwar Japanese Party Politics.” In Robert Harmel and Lars G. Svasand eds. Institutionalisation of Political Parties: Comparative Cases, 111-131	

1. 著者名 Chen, Boyu	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Palgrave Macmillan	5. 総ページ数 212
3. 書名 “When Elections Become Social Movements: Emerging 'Citizen-Initiated' Campaigning in Taiwan.” In Shoko Kiyohara, Kazuhiro Maeshima, and Diana Owen eds. Internet Election Campaigns in the United States, Japan, South Korea, and Taiwan, 165-188	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	浅羽 祐樹  (Asaba Yuki)  (70403912)	同志社大学・グローバル地域文化学部・教授   (34310)	
研究分担者	陳 柏宇  (Chen Boyu)  (10781007)	新潟県立大学・国際地域学部・准教授   (23102)	

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	成廣 孝 (Narihiro Takashi) (90335571)	岡山大学・社会文化科学研究科・教授  (15301)	
研究分担者	朴 志善 (Park Jisun) (80845610)	岡山大学・社会文化科学研究科・特任助教  (15301)	
研究分担者	竹中 治堅 (Takenaka Harukata) (70313484)	政策研究大学院大学・政策研究科・教授  (12703)	
研究分担者	堤 英敬 (Tsutsumi Hidenori) (20314908)	香川大学・法学部・教授  (16201)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	今村 祥子 (Imamura Sachiko)	同志社大学 / 龍谷大学・非常勤講師	
研究協力者	タン アレクサンダー C. (Tan Alexander C.)	カンタベリー大学・教授	
研究協力者	禹 隠喜 (Woo Eunhee)	城西国際大学・非常勤講師	

## 7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

国際研究集会 International Workshop on Parties in the Asia-Pacific 2018: The Present Status and the Future Perspectives	開催年 2018年～2018年
--	--------------------

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
New Zealand	University of Canterbury			